



### 愛知労働局長が働き過ぎ防止ベストプラクティス企業を視察訪問しました

愛知労働局では、過労死等防止啓発月間中の平成28年11月17日、木暮康二局長が蒲郡市にある株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング（役職員数210名）を視察訪問し、比留間愛一郎代表取締役社長執行役員らと対談しました。

日本初の再生医療ベンチャー企業である同社では、社員や患者など「全てのステークホルダーがより善く生きることが信条とする」との企業理念を掲げ、様々な取組によって、社員一丸となって効率的な働き方を実践する機運を醸成されておられました。

また、疲労蓄積を防止する勤務インターバル制度を試行的に導入するなど、働き過ぎの防止にも意欲的に取り組まれておられ、結果、月間45時間を超える時間外労働が発生した回数を劇的に減少させておられました。



対談では、出産・育児休業を経て、今も職場でご活躍中の二人の女性社員からお話をお伺いすることもできました。その中で、「育児休業期間中も会社から職場の情報が提供され、不安を解消できた」「退職も考えたが、勤務日数の短縮という会社の配慮によって、今も働き続けられている」といった貴重な経験談をお話しいただきました。